

# 桜の里便り



令和3年度 第3号

## 達成感を感じる学校行事の積み重ねで、子どもの成長を

校長

令和3年度がスタートし、3か月が過ぎました。引き続き新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、日々の教育活動を実践しています。毎日の各教科の授業や体育の水泳授業等、子どもたちは意欲的に取り組み、みんなで学び合っています。



7月2日(金)には「全校ふるさと登山」を実施しました。ふるさとの山、刈羽三山の一つ、八石山(標高518m)に全校児童で登る学校行事です。

前日の出発式では、代表児童が「最後まであきらめずに登りたい」、「みんなで励まし合って登りたい」と、めあてを発表し、みんなで安全に、八石山に登る決意をしました。

そして当日。曇り空で暑くなく、登

山には絶好の天気となりました。子どもたちは、ボランティアで参加いただいた方と一緒に、バスに分乗して学校を出発しました。登山口に到着し、準備のできた班から頂上を目指して登り始めました。登り始めから急な階段の所もありましたが、「大丈夫～、気をつけて～、すべるよ～、一步一步ね～」と、子どもたちは声を掛け合い、励まし合って登っていきました。ボランティアの方からも声を掛けていただいたり、見守っていただいたりして、子どもたちは安全に登ることができました。そして、最初に登り始めた班が頂上



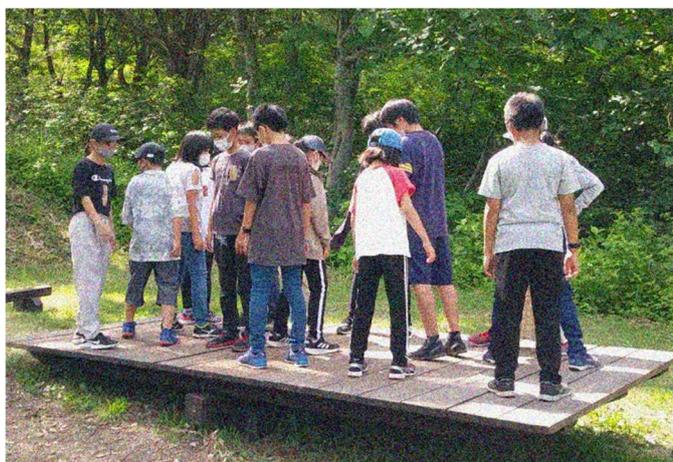
へ到着し、その後次々に頂上へ到着しました。子どもたちは苦しい時もありましたが、あきらめずに頑張って、全員で頂上まで登り切りました。下山もボランティアの方から各班に付いていただき、危険な場所も慎重に下りて、全員が無事に下山しました。一日付き添っていただいたボランティアの皆様に感謝申し上げます。多くの方に支えていただいていた教育活動を実施できています。

今回の登山をとおして、子どもたちは木々や草花、山の空気や柏崎の景色など、ふるさとの自然を十分に感じる事ができました。また、あきらめずに全員が登り切ったことで、一人一人の気力と体力を向上させることができました。そして、班の仲間を気づかい、互いに支え合ってみんなで行動できた登山となりました。

全校児童での学校行事「全校ふるさと登山」では、子どもたちは登り切った達成感をもち、みんなでやり遂げた満足感にあふれた表情をしていました。子どもたち一人一人の確かな成長を実感できる、仲間とともに高め合う姿の見られる学校行事を、今後も積み重ねていきます。

## 仲間との協力が大切！ 5年生自然教室

6月21日（月）から23日（水）の2泊3日で5年生が自然教室に行ってきました。場所は妙高市にある国立妙高青少年自然の家です。グループの仲間で知恵を出し合って課題を解決する妙高アドベンチャー、薪で火をおこしてご飯やカレーを作った野外炊飯、グループで考え練習したスタントをみんなで楽しんだキャンドルサービス、沢をのぼり水中生物を採取したり、植物を観察したりして自然に触れた源流探検等、日頃の学校生活では経験できないことがいくつも体験でき、充実した3日間を過ごすことができました。



「妙高アドベンチャー」の様子

妙高アドベンチャーの脱出ゲームでは、協力することがとても大切だと学びました。みんなで協力し、「安全・全力・全員」全て達成できて、成長できました。

5年 男子

源流探検で、生物や食べられる葉やいいにおいがする葉、さらに、触れる毛虫など、いろいろなものを見ることができてとてもうれしかったです。

5年 女子



「源流探検」の様子



「妙高焼き」の様子

妙高焼きで、取っ手を作ったり、形を作ったりするのが難しかったけど、うまくてきたので、完成を楽しみにしています。

5年 男子

# 助け合って全員登頂！ 全校八石登山

7月2日（金）、全校児童が八石山へのふるさと登山を行いました。子どもたちは異年齢グループのニコニコファミリー班ごとに、19人の地域・保護者ボランティアの皆様力を借りながら、全員が無事に登山をすることができました。一昨年までは、4～6年生が米山、1～3年生が八石山と、方面と時期をずらしてふるさと登山を実施してきましたが、新型コロナウイルス感染防止のため、昨年度に引き続き全校で八石山に登りました。下学年を気遣って何度も後ろを振り返ったり、やさしく声掛けしたりする上学年の子どもたちの姿や、上学年に



遅れないようがんばって登る低学年の児童の姿から、日吉小で大事にしている相手を思いやる心や互いに高め合う力が確かに育っていることを実感できました。

保護者の皆様からは荷物の準備、地域・保護者ボランティアの皆様からは当日の補助等、たくさんのご支援をいただきました。本当にありがとうございました。

## ボランティアの皆様の声から

- 6年生を中心に声を掛け合って頑張っていたと思います。上の子どもたちから何度かボランティアをさせてもらい、楽しい思い出がたくさんできました。ありがとうございました。
- 異年齢集団とのことで、5・6年生が積極的に1・2年生のフォローをする姿が見られました。下の学年の子を思いやる気持ちをもつよい機会になっていると思います。
- 6年生がとてもしっかりしていて頼もしかったです。子ども同士で声を掛け合っている姿に感動しました。
- お互いに声を掛け合い、励ましたり手を差し伸べたりする姿が多く、感心しっぱなしでした。すばらしい行事だと思います。
- 6年生は進んで低学年に声を掛けたり見守ったりしており、また低学年は高学年に素直に頼ることができていた。同学年の中だけでは学習できないこともあると思うのでよかったです。
- 黙々と上学年についていこうとする低学年の姿が印象的でした。下学年に声掛けする5・6年生が頼もしくかっこよかったです。高学年にとっては、八石山は物足りないかもしれませんが、全校登山はいろいろな意味でとってもよい計画だと思います。

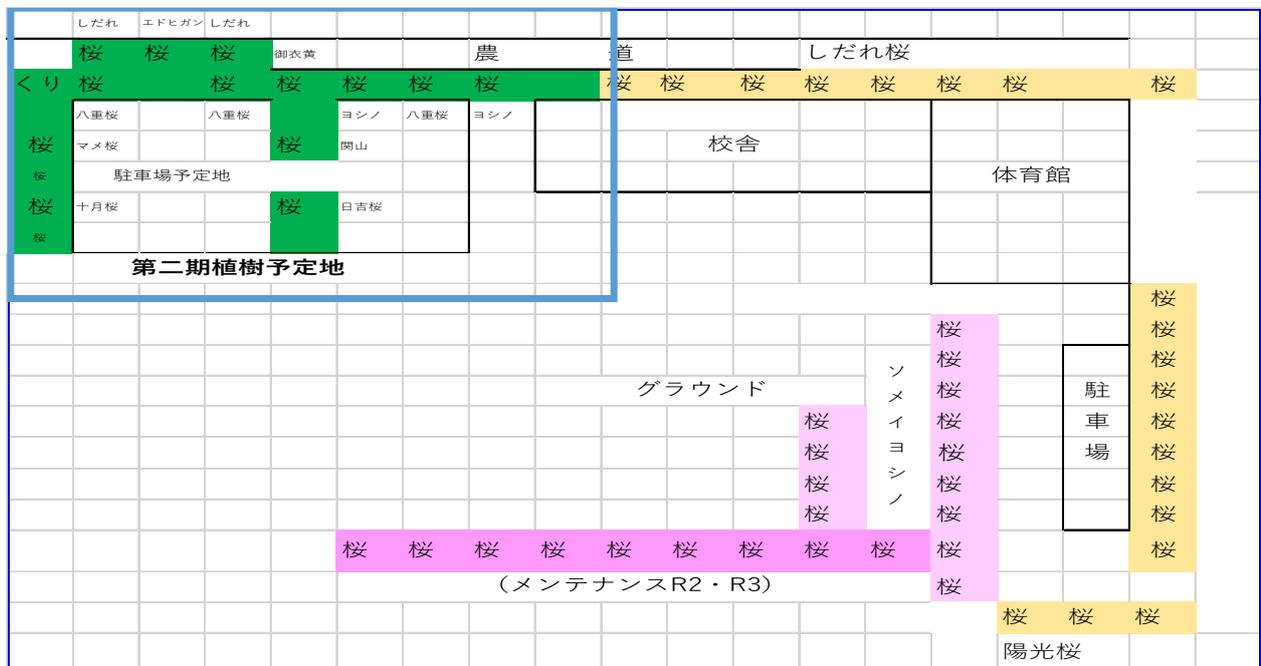
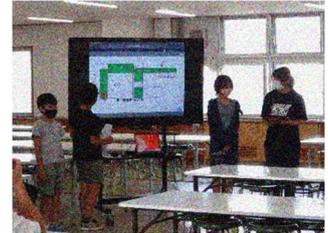
# 桜プロジェクトで6年生が第2期植樹の提案



7月15日(木)に桜プロジェクト実行委員会を行いました。その中で、11月3日(水)に行う第2期植樹について、植える桜の品種や植樹場所について、6年生がグループごとに提案しました。

桜プロジェクトは令和元年度にスタートし、令和2年3月の卒業式の日、先行植樹として8本のソメイヨシノと陽光桜1本(シンボルツリー)を植樹しました。第1期の植樹は令和2年の11月に行い、ソメイヨシノをグラウンドに6本、陽光桜をグラウンド東側に11本、そして、校舎裏にしだれ桜を7本植樹しました。2年間で33本の桜を植樹しました。

最終年度の第2期植樹では、旧体育館跡地に造成される駐車場のまわりなどに植える予定です。実行委員の皆さんを前に、6年生は堂々とプレゼンをしました。どんな桜をどこに植えるのか、なぜその桜を選んだのかを、画像も入れながら丁寧に説明しました。実行委員さんからは、「雪に耐えられる品種なのか?」「せっかくだから6年生の思いを看板にして残してはどうか」などと、ご質問やご意見をいただきました。6年生の計画では、8種類、計13本の桜を植える予定です。中には「日吉桜」という学校と同じ名前の桜もあります。実行委員会の皆さんの賛同をいただきましたので、6年生は今後、植樹当日の会のもち方等の計画を進めていきます。11月の桜プロジェクト最後の植樹は、全校児童の他、お家の方、地域の方からたくさんおいでいただき、盛大に行うことができればと思っています。



## <<<子どもたちの活躍>>>

### 【第32回柏崎ジュニアオリンピック陸上競技大会】

|                 |     |            |         |
|-----------------|-----|------------|---------|
| 女子小学4年800m      | 第2位 | 4年 女子      | 3分07秒80 |
| 女子小学3・4年4×100mR | 第1位 | 柏崎T&F      | 1分06秒09 |
|                 |     | (4年 女子 2名) |         |